

## 令和元年度第6回安塚区地域協議会次第

日時：令和元年8月22日（木）午後7時

場所：安塚区総合事務所3階301会議室

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

### 3 協 議

(1) 自主的審議事項「地域活動における人員不足について」

(2) 令和元年度安塚区地域協議会視察研修について

資料 No. 1

(3) 安塚区地域協議会としての審議内容について

### 4 報 告

(1) 安塚区地域懇談会開催結果について

資料 No. 2

(2) 雪だるま高原施設の効率化に向けた対応（機能再編）について

資料 No. 3

### 5 その他

(1) 次回開催 令和 年 月 日（ ）午後 時 開会

### 6 閉 会

令和元年度安塚区地域協議会視察研修について（案）

1 日程 令和元年10月4日（金）午前9時～午後4時30分

2 視察先・視察内容

(1) 視察先

- ・貸民家みらい
- ・HATAGO 井仙
- ・うしだ屋

(2) 行程

- 9：00 安塚区総合事務所 発
- 9：30 貸民家みらい（十日町市蓬平）  
・貸民家みらいについて  
・見学
- 10：30 貸民家みらい 発
- 12：00 HATAGO 井仙（湯沢町湯沢 2455）  
・昼食、見学
- 13：40 HATAGO 井仙 発
- 15：10 うしだ屋（上越市大島区田麦 1283）  
・うしだ屋の取組について  
・地域おこし協力隊の活動について
- 16：10 うしだ屋 発
- 16：30 安塚区総合事務所 着

3 その他

- ・視察研修は、市マイクロバスにより移動します。

## 安塚区地域懇談会 開催結果

開催日	会場	対象町内会	参加人数
令和元年6月11日(火)	船倉地域生涯学習センター	上船町内会、中船町内会、樽田川町内会	10人
令和元年6月13日(木)	須川ふれあいセンター	須川町内会	9人
令和元年6月17日(月)	真萩平地区集落開発センター	おぎの町内会	23人
令和元年6月18日(火)	克雪管理センター	菱里町内会	14人
令和元年6月21日(金)	B & G 海洋センター	おぐろ町内会（行野自治会、大原自治会、芹田自治会、小黒自治会、切越自治会） 和田町内会	15人
令和元年6月24日(月)	朴の木地区集落開発センター	おぐろ町内会（朴の木自治会） 菅沼町内会	15人
令和元年6月26日(水)	安塚コミュニティプラザ	安塚町内会、牧野町内会、上方町内会、本郷町内会、石橋町内会、直峰町内会	4人
令和元年6月27日(木)	中川地域生涯学習センター	坊金町内会、細野町内会	21人
合 計			111人

## 質問・要望等の内容

<バス路線の再編や見直しについて>

<時間外受付の見直しについて>

<投票所の廃止について>（6月24日（月）朴の木地区集落開発センターのみ）

<健康診査について>

<その他>

質問・要望等の内容	回答
<p>&lt;バス路線の再編や見直しについて&gt;                      提案ですが、バスの利用者が1、2人しかないのであれば、今後NPO法人を利用し、少数の住民でも利用できるような仕組みを作ってはどうか。また、バスの利用者を増やす仕組みづくりも必要だと思う。定額料金にするなどはどうか。</p> <p>運転できなくなった時のことが心配。バスもなくなれば移動手段がなくなり、生活ができなくなる。</p> <p>朴の木線は廃止を検討とあるが、スクールバスは運行するのか。</p>	<p>（大橋次長）                      安塚区内の市営バスは定額料金（200円）、区外の路線バスは別となっている。バス利用者の増加については、利用者に聞き取りを行い、今後の再編計画の検討材料としていく。</p> <p>（市川所長）                      利用者等に聞き取りを行った結果、バスを利用せず車を使用する、家族に送ってもらおうといった回答が多かった。バスがなくなったら心配という声はわかる。しかし、車が運転できなくなったらバスを利用するかと言ったら、運転できないような体調であればバス停まで行くのも困難になり、利用は難しいと考える。車がないと生活が困難な現状を踏まえ、制度も変わっていくだろう。またそのように変わっていくべきだと考えている。</p> <p>スクールバスは廃止されない。子ども1人でも運行するが、バスとは別に運行を検討している段階である。</p>
<p>&lt;時間外受付の見直しについて&gt;                      メールのみでは、火災発生場所を知るのが難しくなるのではないか。また、メールのやり方自体、わからない人もいる。</p>	<p>（池田班長）                      防災無線の火災発生放送はメールの内容をもとにしており、放送とメールのどちらも火災発生場所等の情報量に違いはない。また、消防団員にはメールで迅速に情報が届く体制となっている。</p>

質問・要望等の内容	回答
<p>&lt;時間外受付の見直しについて&gt;  職場によってはケータイの所持が禁止されているところもある。消防団員が常にケータイを所持できるわけではない。</p>	<p>(市川所長)  市もそのような職場があることは承知しており、1つの課題と考えている。今後、消防署や消防団と相談し検討が必要と考えている。</p>
<p>せっかく防災無線の設備があるのだから、消防署の無線と連携させて、自動的に放送が流れるようにしてはどうか。</p>	<p>(池田班長)  放送の電波は、上越市で1つの電波しか持っていない。消防署と連携させて放送を流す場合、上越市全体に放送が流れることとなる。安塚区だけで流すことはシステム上できない。</p>
<p>遠くに親戚がいる人もいる、火災の放送は上越市全体に流してもいいのでは。</p>	<p>(池田班長)  上越市全体に流すとなれば、関係ない住民からは疑問の声が上がると考えられる。また、深夜・早朝といった時間によっては苦情となるおそれがある。</p>
<p>火災の放送を廃止する理由は何か。</p>	<p>(池田班長)  消防団員へは団員メールで周知を行っている。また、安全メールやケーブルビジョンの放送で火災発生を知ることができることから、火災発生時の放送廃止を検討している。また、事務所が無人となることから、時間外に放送できる職員がいなくなることも理由の一つである。</p>
<p>&lt;その他&gt;  各団体からの集金・募金の金額について、個人の負担する金額は統一されているのか。集落運営も厳しい中、公共性の高いものであれば、市で予算化するなどしてほしい。</p>	<p>(市川所長)  社会福祉協議会の負担金は市内一律料金となっている。その他、小中学校の後援会費、交通安全協会費等については、それぞれの団体が金額を決めて募金の依頼をしている、市の予算化等はできない。</p>

質問・要望等の内容	回答
<p>&lt;その他&gt; 市道中船上船線の段差が広がっており 20 c mくらい下がっている。昨年も直してもらったが、今年も直してほしい。</p>	<p>(浦川原建 G) 現場を確認し対応する。</p>
<p>市道維持にかかる予算はいくらか。</p>	<p>(浦川原建設 G) 資料の 3 を御覧いただきたい。道路維持は予算内で対応していく。</p>
<p>道路の排雪について、雪がなくなった頃場所によっては、傾斜もあれば、アスファルトが欠けていたりするところがある、盛り土等はしないのか。</p>	<p>(浦川原建設 G) 基本的に除雪業者には、春先に除雪先をまわり、道路等壊れている所があれば直すよう指示している。アスファルト等が欠けている場所を教えていただければ確認する。</p>
<p>市道の草刈について、市の草刈、全くなっていない。草を刈る路線の指示の仕方が駄目なのではないのか。</p>	<p>(市川所長) 仕様書により草刈の指示を行い、作業前、作業後の写真付きの実績報告書を受けている。不具合があったら、御相談いただき、職員が確認を行う。また、受託者である「NPO雪のふるさと安塚」では人員の確保が厳しくなっているという現状がある。</p>

須川ふれあいセンター（須川町内会）

質問・要望等の内容	回答
<p>&lt;バス路線の再編や見直しについて&gt; バス路線が廃止となった場合に、NPOで行っている高齢者等の送迎バスを市主体でやる考えはないのか。</p>	<p>（市川所長） 市で新たな仕組みを作ることは考えていないが、皆さんの意見を踏まえ検討している段階である。</p>
<p>今後高齢者を中心に考えるようになった時に、NPOで運行しているバスの仕組みを拡大し、市で運営してはどうかと考えた。</p>	<p>（市川所長） 市全体で、もしバスの廃止を考えるようなことがあれば、そのような対応もできると思う。皆さんからの意見をお聞きする中で、良い方法を見つけていきたいと考えている状況である。また、今回は廃止ではなく便を再編するというところで皆さんに提案している。</p>
<p>&lt;時間外受付の見直しについて&gt; 消防団員以外の人に伝わらないのはどうなのか。火災情報の確認も、外にいれば情報を収集できない場合もある。</p>	<p>（市川所長） そういった状況も考えられる。一般の人には安心安全メールに登録していただくと、火災発生 of メールを受け取ることができるので、登録を検討してもらいたい。</p>
<p>&lt;その他&gt; 先ほどのバス路線の話も同様だが、合併当初から危惧してきたことが現実になってきたと感じる。また、住む人間として、住む場所を検討すべき時期に来ていると感じている。</p>	<p>（市川所長） 合併当時から比べると職員数も約4分の1の人数となったが、反対に社会福祉協議会の職員数などは増えている。高齢化に対応する中で、皆さんがいきいきと生活できるように、地域で支えあえるような仕組みづくりに取り組んでいけたら思っている。</p>
<p>テレビでやっているが、区内では現実に山奥にぽつんと一軒家がある。行政からしたらどこかに移り住んでほしいのかもしれないが、このような地域の道筋をみつけてほしいと思う。</p>	<p>（市川所長） 市ではコンパクトシティということで、土地の活用方法についての計画がある。安塚であれば中心地に集まれるような方向性を示している。これは、集落移転を進めるものでなく、住む人に考えてもらうものである。安塚では、棚田カフェ</p>

質問・要望等の内容	回答
	<p>やそば祭り等、地域で住民同士の交流を作っていこうという活動がある。国も十分ではないが制度的には少しずつ動いてきており、交流や、かかわりを持って生活することで、地域を離れなくてはいけないという心配や寂しさはなくなるのではと思っている。</p>
<p>空き家の購入者が冬の間除雪をせず、屋根の雪が自然落下し、幹線道路の支障になることがあった。事故に繋がる可能性もある。地域の住民だけでは解決できない場合は、市から対応してもらえるものか。</p>	<p>(池田班長) 危険空き家、不適切な空き家については、所有者に適切な管理を行うよう通知を出している。適切な管理が行われていない空き家がある場合、町内会長から市に相談してほしい。現場を確認し、主管課である建築住宅課と協議を行い、適切な管理を行うよう通知を出すことは可能だと思う。冬の大変さを知らずに、空き家を不動産屋から購入する人もいる。空き家の購入者と集落が話し合うことも必要だと思う。</p> <p>(市川所長) 実際に支障をきたしているのであれば、職員に連絡をしてほしい。相談対応を行う。</p>
<p>運動推進員の活動について、現在活動の内容は握力測定のみである本来の運動推進員の目的・趣旨はこうなのか。</p> <p>本来がそういう趣旨であるのなら、運動推進員というのはいらないのでは。市で具体的に動く方法を検討していただきたい。</p>	<p>(石川G長) 握力測定については、事業でやらなければいけないことのひとつでしかない。運動普及推進員は皆さんから運動してもらえようように促していただくのが主となる業務となる。</p> <p>(石川G長) スポーツ推進課にスポーツ推進員がおり、今年は運動普及推進員と一緒に何かできないか検討中である。今の意見を受け、新年度に生かしたいと思う。今年度も昨年度と同じではなく、工夫できたらと思うので、その節はよろしく願います。</p>



質問・要望等の内容	回答
<p>共同募金について、赤い羽根共同募金の一人あたり目標金額が各区によって違うのはなぜか。</p> <p>募金だから強制でないのはわかるが、皆義理堅いので目標金額に合わせて出す。一人暮らしの人には負担が大きい。なぜ平均にできないのか。そういった働き掛けはできないのか。</p>	<p>(市川所長) 赤い羽根の目標金額は前年度の実績金額から算出しており、人口が減っている区で前年度の実績から目標金額を決められると、一人あたりの負担が大きくなる。目標金額に関しては社会福祉協議会が決めていることなので、市からはお答えできない。</p> <p>(市川所長) 社会福祉協議会に確認する。</p>

質問・要望等の内容	回答
<p>&lt;バス路線の再編や見直しについて&gt;                      高齢者の運転事故が報道されている。この先交通のルールがどう変わっていくかわからないなかで、高齢者が運転できない社会になった時どう考えているのか。</p> <p>乗合タクシーになるとは、デマンド便みたいになるということか。</p>	<p>（市川所長）                      高齢者の運転による事故については、海外も同様の事件が起きており問題になっている。免許制度も、免許返納を促す他に、運転できるエリアを限定するといった方法などによって変わっていくことも考えられる。免許制度の変更や公共交通のあり方も、急に無くすのではなく、社会情勢に沿った検討が進められていくと考えている。また、車の自動ブレーキなど車自体の技術革新にも期待しており、皆さんが使える移動手段がなくなることはないと思っている。</p> <p>（交通政策課）                      私どもが今考えているのは、乗っていただいているものに対して支えていくということであり、次の公共交通では網羅的に公共交通の利用が確実にいきわたるように、皆さんからの御意見をいただきながら検討していきたいと思っている。</p> <p>（市川所長）                      運行についても、デマンドを取り入れていく方向である。</p>
<p>&lt;時間外受付の見直しについて&gt;                      火災の際の防災無線をやめ、メールで対応するとのことだが、ケータイの電波が届かない一部地域の対応はどうする。</p>	<p>（池田班長）                      常時、その電波が届かない地域にどうかということもある。これについては消防団の再編の関係も絡んでおり、現在、常備消防能力の強化も検討している。また部を統合し、一つの部の人数を増やすことで、集まれる人数を増やし出動できるように体制を整えていくことも検討している。</p>

質問・要望等の内容	回答
<p>木田から遠隔操作はできないのか。</p>	<p>(池田班長)            防災無線のおおもとのシステムは木田庁舎にあり、各区に限定して放送することは今のシステム上できない。昔、柿崎の放送が浦川原や、13 区に流れてしまい、他の区が他の地域に放送できない制限を付けたという経緯もあると聞いている。</p>
<p>経費の削減はわかるが、例えば 1,000 万経費が掛かっているのなら。500 万を削減するなど徐々に対応していけばよいのでは。</p>	<p>(池田班長)            御意見として検討する。市では皆様の生活に支障がないところを削減しており、災害時についての職員の招集体制などについては今まで通り対応していく。</p>
<p>過去、雪崩が起きた時に事務所に連絡した、地図を出され場所を伝えるのに苦労した。そういうところどうにかならないか。</p>	<p>(市川所長)            職員については、普段からなるべく現場にでるよう指示している。また、災害が起きた際や災害の危険がある際の見回りコースを決め、職員で巡回等行い、安塚の土地を理解できるように対応している。</p>
<p>意見です。メールでの周知等あるとのことだが、火災が起きた際の放送は残してほしい。地元で起きたことを知る手段は残してほしい。</p>	<p>御意見として所管課に伝える。</p>
<p>&lt;その他&gt;            冬期間の道路除雪については、人口一人当たりの除雪費用を考えると負担となっているのは承知しているが、住民の生活のため考えていってほしい。</p>	<p>(市川所長)            除雪に関しては、皆さんに迷惑をかけないように対応を続けていく。</p>

質問・要望等の内容	回答
<p>町内会の事業の要望書について、毎年同じ要望の継続を希望する場合は要望書の提出を省略することはできないのか。</p> <p>いつも要望書が通らないとやる気もなくなる。</p>	<p>(市川所長)</p> <p>要望される場所の状況は毎年変わるので、それを踏まえ毎年出していただきたい。</p> <p>(市川所長)</p> <p>要望書については、優先順位の関係で、実施することができない要望がある。しかし、すぐに修繕等が必要な要望などについては、対応していきたいと思う。</p>
<p>除雪に関するアンケートを出すのが、回答が返ってこない。回答したところには、なんらかの形で回答がほしい。</p>	<p>(浦川原建設G)</p> <p>確認する。</p>
<p>防災無線の屋外スピーカーについて、自分のいる位置によっては反響して何も聞き取れない。</p>	<p>(市川所長)</p> <p>難しいところであるが、できるだけゆっくりと話すことで、内容を聞き取りできるよう対応する。</p>

克雪管理センター（菱里町内会）

質問・要望等の内容	回答
<p>&lt;バス路線の再編や見直しについて&gt; 診療所で迎えに来るといったサービスはないのか。</p> <p>診療所に行くのに合わせて、近くの商店までのバスや、移動手段があるといい。</p>	<p>（市川所長） 安塚区では行っていないが、他の区では実施している医療機関はある。</p> <p>（市川所長） 私も必要だと考えている。今後、診療所のあり方も考えていく中で、課題として検討していきたいと思っている。</p>
<p>自動車につける安全装置について、上越市は補助金の考えはあるのか。</p>	<p>（市川所長） 今のところ補助金といった考えはない。</p>
<p>市営バスは廃止し全て民間タクシーとして、タクシー代を市が補助するのはどうか。</p>	<p>（交通政策課） タクシー代の補助についても一つの方法と考える。現状も踏まえ、タクシーの運賃補助等も検討していかなくてはいけないと思っている。現在タクシーの利用券の交付もしているが、制限がある。その制限の見直しも含めて、公共交通がなくなった時のセーフティネットも考えていかなくてはと思っている。</p>
<p>乗る人が少ないから削減する、経費削減の犠牲になるのは山間部の人間でないかと感じる。</p>	<p>（市川所長） 住民にとって必要な対応については、これまで以上に確保していきたいと思っている。スクールバスについては1人であっても運行は続けるという計画となっている。バスをやめるという話ではなく、新たな行政ニーズに対応していくための編成であり、皆さんへのサービスが下がることはない。</p>

<p>&lt;時間外受付の見直しについて&gt;</p> <p>高齢者が多い。メールを見ろと言われても難しい。ケーブルビジョンに加入していない人もいる。</p>	<p>(市川所長)</p> <p>別の手段で対応いただけたらと思っている。すべての人に周知する手段というのはなかなか難しいところであり、検討の課題となっている所である。</p>
<p>&lt;その他&gt;</p> <p>区内の案内看板について、看板の修繕費用は市で面倒みていただけないものか。</p> <p>どこからが観光なのかという話になるが、実際に来ている人はいる。市の方でやってもらいたい。</p>	<p>(市川所長)</p> <p>地域の案内を目的とする看板であり、市の観光部門では修繕用の予算はない。</p> <p>(池田班長)</p> <p>たとえば地域活動支援事業などと結び付けて支援することは可能。</p> <p>補助を受けて看板の修繕などする場合には、地域活動支援事業を有効に活用していただきたいと思う。他の困りごとであっても申請し、補助がもらえればできる。ただし、市で看板を作成し、設置する予算はない。</p>

B & G海洋センター（おぐろ町内会一部）

質問・要望等の内容	回答
<p>&lt;バス路線の再編や見直しについて&gt;                      昨年、集落でデマンドバスを使用した際は、あると便利だなと感じた。今後、合理的に利用していくために、曜日を限定しての運行はよいと思う。何曜日に運行するのかは決めるのが難しいかもしれないが、これから住民の意見を聞いて検討してもらえればと思う。</p>	<p>（大橋次長）                      昨年バスを御利用いただき、ありがたく思っている。これからも続けてもらえればと思う。また、これからも利用者一人一人の意見をお聞きして検討していきたいと思っている。</p>
<p>診療所まで来たら、近くの商店で買い物をして帰りたいという意見がある。商店までバスが来るようにしてほしい。以前バス会社に聞いた際は、バスの回転するスペースがないという理由で断られた。</p>	<p>（大橋次長）                      調査した利用者からも商店の前まで来てほしいという意見があることから、見直しを検討している。車両が、乗合タクシーといった小型のものに変われば対応も可能だと思う。</p>
<p>我々が80歳になった時に、送迎してくれる人がいるのか心配になる。若い人がいなくなるため、将来的な移動手段について不安に感じている。</p>	<p>（市川所長）                      現在、国の制度なども変化してきている。今回の件についても時代とともに、新しい対応の仕方が出てくると思っている。</p>
<p>&lt;時間外受付の見直しについて&gt;                      消防団の訓練についても、放送はしないのか。</p>	<p>（池田班長）                      今後の検討とする。放送をなくすと決まったわけではなく、放送をやめるとなった場合は、何らかの対応を考えていくと思う。また、大災害の中での火事等は放送を行うこととしているので、火災の放送をしないというわけではない。ケースバイケースで対応していく予定である。</p>
<p>お年寄りにはITに不慣れである。メールを設定する、メールで確認するなどは対応できるのか。災害の時の避難の放送等、迅速な対応はできるのか。</p>	<p>（池田班長）                      メールで周知するのは消防団への出動メールであり、災害の際、避難の呼びかけ等の連絡が必要になったときは放送を流すこととしている。</p>

<p>それは特定の集落のみの放送であっても流すのか</p>	<p>(市川所長)          その場合も安塚区内であれば、無線を流している。</p>
<p>消防団への出動要請の無線だが、一般の人でも聞いている。一般の人が火災情報を確認する仕方を教えてほしい。</p>	<p>(池田班長)          一般の人にも周知できるように、火災情報を知る手段についてはチラシなどで周知できたらと考えている。</p>
<p>見直しも必要だが、どこで火事があったのか地域の人に分からないというのどうなのか。皆、ケータイを常時持っているわけではない。</p>	<p>(市川所長)          火災情報に対する一般住民の確認方法については検討していきたいと思っている。伝達方法については無線であっても、住民全員に聞こえているわけではなく、できるだけ皆さんに迷惑をおかけしないような方法を検討している。また、意見を所管課に伝えていく。</p>
<p>安全メールでお知らせする内容は 5 つあるが今はいくつ流しているのか。15 年前から安全メールに登録しているが、流れていないものもある。メールの設定方法についても検討してほしい。</p>	<p>(大橋次長)          該当する事案が発生したとき全部流れるようになっている。配信を希望する情報を設定してもらう必要がある。また、メールの設定方法等が当初と変わっていることも関係があるかもしれない。</p>
<p>意見です。経費がかかるのはわかる、同じサービスを続けてもらうのは無理かもしれないが、地域が高齢化していく中でメールでの対応は難しいし、ついていけない。</p>	<p>意見として承る。</p>
<p>&lt;その他&gt;          農協もそうだが、回覧などの書類が多すぎる。書類が減るようないい案はないのか。</p>	<p>(市川所長)          広報の担当に伝えたいと思う。また来年からは、1 回分の書類の数は多くなるかもしれませんが、広報等の配布物は月 1 回にするという方向で検討している。</p>



<p>市からいろいろな役の推薦の依頼が来る。推薦できる人がいないだけでなく、いくつもの役を同じ人をお願いしなくてはいけないという場合があり、人員対応が難しい。会議の交通費も自己負担となるし、役員推薦についての考え方を考える対応をお願いしたい。</p>	<p>(市川所長) 難しいところであるが、要望としてお聞きする。</p>
<p>中山間地域の補助金(直接支払)について、処理が大変である。高齢者や素人でも分かりやすいように簡素化できないか。</p>	<p>(市川所長) 簡素化してきている部分はあるが、国からの補助金であり、簡素化できない部分もある。</p>
<p>無線について、時報のチャイムはどうか。  チャイムの音色は変えられないのか。</p>	<p>(池田班長) 現状どおりとし、なくなることはない。  (池田班長) 安塚区で流しているのは主流のチャイムとなっている。浦川原区は独自の音色が流れているが、安塚区は合併前上越市と同じチャイムとなっている。町内会の要望として、多くの方が変更を望んでいるのであれば変更は可能と思うが、現状は難しいと判断している。</p>
<p>獣による作物への被害について、わなの貸付や補助金は申請の条件、制約があり、小型のものでも申請できるようなものはないか。</p>	<p>(浦川原区産業G) 小型のものであれば、補助金を活用していただければと思う。また御意見を農政課に伝え、検討していきたいと思う。 (市川所長) 地域で何か捕獲・駆除できるような対応ができればと思うが。</p>
<p>市で貸付の箱罟はあるのか。それは免許がないと設置できないのか。</p>	<p>(浦川原区産業G) 免許がなければ設置できない。免許を取得するための補助もあるので検討してもらいたい。</p>

<p>電気柵については3戸以上が原則なのか。</p>	<p>(浦川原産業G) 原則3戸以上となっている。電気策で囲われていない畑が被害にあうため、できるだけ広い範囲で設置していただきたい。</p>
----------------------------	---

朴の木地区集落開発センター（おぐろ町内会他）

質問・要望等の内容	回答
<p>&lt;バス路線の再編や見直しについて&gt; この土地に住むにあたって、免許がないと非常に困る。行政のほうで足に代わる対応をしてもらいたいと思っている。</p>	<p>（市川所長） 提案にもあるとおり、地域の中で福祉的な送迎も必要になってくると思う。方法を検討していきたいと思う。</p>
<p>&lt;時間外受付の見直しについて&gt; <b>無し</b></p>	
<p>&lt;投票所の廃止について&gt; 菅沼の投票所の廃止については、いつからか。</p>	<p>（池田班長） 皆様からの御了解いただければ現状維持となる。御協力いただけないかというお話をさせていただいている。もし投票所なくすとなった場合の代替案については、臨時の期日限定投票所を開設することを考えている。しかし、問題としては、平日日中の投票所までの交通手段の確保と立会人の用意をしなくてはいけないことがあげられる。また、選挙管理委員会に期日前投票所までの送迎ができないか提案したこともあるが、回答としては、1 つでも市内で送迎できないところがあれば、公平の面から厳しいだろうという話になった。</p>
<p>仮に廃止となった場合、一人暮らしが多い菅沼で投票日に臨時バスを出すというのも考えていないのか。</p>	<p>（池田班長） 選挙管理委員会に提案したいと考えている。また、当日投票所にいけない人のために事務所で期日前投票を行っているので、こちらも御利用いただければと思う。</p>
<p>&lt;その他&gt; カーブミラーの取り付けについて、降雪期に取り外しを行うが、取り付けが遅いのではないか。安全面を考えると早めの取り付けをお願いしたい。また側溝のごみについても、草が伸びきらない春先に対応してほしい。</p>	<p>（浦川原建設 G） 取り付けについては、現在は徐々に進んでいる。なるべく早くという御意見をいただいたので、担当に伝えたいと思う。側溝についても同様に来春はなるべく早く対応していきたい。</p>

<p>集落内のカーブミラーについては、集落で取り外しを行っている。それにもかかわらず市道のカーブミラーが壊れたら報告しろとなっているらしい。なぜ朴ノ木だけこういう対応しているのか。合併してから変わったのかは知らないが、集落の中だけでは管理しきれない。</p>	<p>(池田班長) カーブミラーの管理は市で行っている。壊れた場合等は修理するなど対応している。カーブミラーの撤去や取り付けについて市では行っていない。他の町内会でやっている所も知っているが、他の区だと町内会で取り付け、取り外しをしているところはないと思う。</p>
<p>管理について、市の方で業務委託出されているのでは。NPOが取り付け、取り外しをやっているのなら市が業務を委託しているのではないのか。</p> <p>市で管理をやってもらいたい。</p>	<p>(浦川原区産業G) 林道については、NPO雪のふるさと安塚に委託し、カーブミラーの撤去・設置を行っている。</p> <p>(大橋次長) 市道についても委託しているのかどうか確認し、管理について検討する。</p>
<p>春の町内会長・自治会長合同会議の開催が遅すぎる。我々も早く新年度の計画を立てたいので、もっと早く開催してほしい。</p>	<p>(池田班長) 会議の時期については、町内会の役員の方たちと協議し決定している。御意見として検討する。</p>
<p>NPOが行っている草刈について、役所の方から早めにやってもらうようにしてほしい。</p>	<p>(市川所長) NPOも現在、草刈の人員が少なくなってきたと現状がある。できるところは地域に委託していく方法も検討している。</p>
<p>除雪について、ここは2回ほどしか除雪が来ない。また5時に除雪が終わるので、夜に雪が降った時には帰ってこられない。数年前、夜に雪が積もり自宅に帰れず、ホテルに泊まったことがある。除雪する基準の降雪量はあると思うが、雪質等も加味してもらいたい。</p>	<p>(浦川原産業G) 基本は、通勤時間帯を避けるように除雪を依頼している。お話のあったとおり、夕方以降降雪量があるような日については検討して行かない部分だと思うので、いったん持ち帰らせていただく。</p>

<p>除雪について業者が業務を徹底していない部分もある。除雪する人も高齢者であり、若い人への育成も必要だと感じる。仕事として受けている限り、業者には時間でやめるのではなくちゃんと対応、指導してほしい。</p> <p>ここの地域を除雪する人は、運転手が見回りもかねて対応している。本来は運転手と見回りの人との 2 人態勢を取るべきではないのか。</p> <p>県道はパトロールするときパトロール代金が出る。市はパトロール代金が出ていないのでは。</p> <p>山間部と平場では除雪の対応が違う。平場での除雪は、無駄にきれいにしすぎと感じる部分がある。もっと多く雪が降る山でお金を使ってほしい。</p>	<p>(市川所長) 除雪の対応状況について、担当者、業者にしっかり確認させてもらいたいと思う。</p> <p>(浦川原建設 G) パトロール代金は支払っている。</p> <p>(市川所長) 今の除雪の関係も確認させてもらう。</p>
---	--

質問・要望等の内容	回答
<p>&lt;バス路線の再編や見直しについて&gt; 1 便あたり 5 人とした根拠は。</p> <p>これといった根拠はなく目安の数字として、このぐらいの数字が必要だということで、つかみの数字でこのように決めたということでしょうか。</p>	<p>（交通政策課） どういった指標がいいのか当課で検討し、皆様に説明するにあたってわかりやすい指標として、一便当たりの利用者数何人という形で表示した。5 人とした根拠は、平均乗車密度などの兼ね合いで、幹線を維持していくうえで平均乗車密度が 2.0 人としており、これを 1 便当たりの乗車人数に変えたときに 5 人となることから根拠とした。</p> <p>全国的に統一が取れている数字ではない。上越市で計画を策定していくうえで設定した数字となっている。</p>
<p>公共交通網に関して 6 次総合計画に乗っていないのでは。地域づくりと公共交通計画とはどう連携しているのか。</p> <p>6 次総合計画は住民の指針となるものであるのに、公共交通ともリンクするべきでは。</p> <p>1 便あたり 5 人以下は廃止ですといきなりいわれると、疑問に思う部分はある。もっと具体的に説明してほしいと感じた。</p>	<p>（市川所長） 現在、第 6 次総合計画策定の時と公共交通の見直しも検討している所である。第 6 次総合計画には、ほんの数行であるが記載はしてある。</p> <p>（市川所長） 確認する。また、今回の説明した内容は決定ではない。このような考えで見直しを進めているというところで、皆さんから御意見をいただいている。</p> <p>（市川所長） まず、1 人に満たない路線については廃止を検討することとなっており、他の便については、適切な便数に編成しようという考えをお示ししているものになる。</p>

質問・要望等の内容	回答
<p>&lt;時間外受付の見直しについて&gt;            夜間だけか、祝祭日も警備員はいないのか。</p> <p>財政的に厳しい厳しいといいながら、あれだけの基金を積むのはおかしいと思う。</p> <p>初めて聞いたので驚いている。このようにしようと考えていることを、一般住民にどのように周知していこうと思っているのか。</p> <p>4月からということだが、市議会議員達はこれをいいといったのか。</p> <p>どうして、浦川原と柿崎と板倉を残すのか。</p> <p>大きな災害が安塚区で起きたとき、災害対策本部は浦川原区か。</p>	<p>(市川所長) 夜間と祝祭日もいなくなる。</p> <p>(市川所長)            現在ある基金は現状のままでは数年先になくなってしまふことを御理解いただきたい。</p> <p>(市川所長)            平成 30 年度に 1,400 の事業を対象に事務事業の見直しを行った。あくまでもこれは行政サイドで検討を行ったものであるが、この検討結果については議会に示している。ただ固まったものではなく、事務方で提案しているものであり、それについては、懇談会で皆さんにお話をする、意見を持って、話をしたということを進めている。最終的な決定は、これから議会で決められるものである。</p> <p>(市川所長)            災害が起きた際など、職員は登庁するが、職員の連絡体制については現在と変わりなく対応が可能としている。集約しても体制に余り影響がないというところで、集約先のみを残すこととした。</p> <p>安塚区総合事務所に災害現場に設置する。</p>

質問・要望等の内容	回答
<p>安塚区を含む広範囲で災害が起きたとき、命令指揮系統はどうなるのか</p> <p>災害内容等を安塚の事務所に聞きにいつでも、本部に聞かないと対応できないとないのか。</p> <p>木田の本部からの指示を待ってからでないと動けないということか。</p>	<p>(市川所長) 木田庁舎が本部となる。</p> <p>(市川所長) 総合事務所ではネット回線で木田と即連絡が取れるようになっており、ほぼ同じ時間で命令指揮が取れるような体制としている。</p> <p>(市川所長) 災害の状態によって臨機応変に対応する。ただし、重機を動かすといったようなことは、安塚区では難しいので、状況を報告しながら、他区と連携し対応する。避難者へ対する対応、非常食の配布等対応は可能である。</p>
<p>先日の山火事の時、現場がわからない状況だったと聞いた。地元の人がいなくなって、災害現場がわからない等、これからいっぱい出てくると思う。対応を考えてもらいたいと思う。</p>	<p>(市川所長) 安塚については、災害時のパトロールとして3コースを設定しており、またできるだけ職員には現場に出て地域を覚えるようにしている。安塚出身の人も少なくなり、十分でない部分もあるかもしれないが、このような対応方法でしっかりと地域を覚えていきたいと考えている。</p>
<p>避難訓練のときに防災無線は使わせてもらえるのか。</p> <p>せっかくのいい施設があるのに使わないのはどうなのか。訓練外にも使いたい人はいるのでは。住民で使いたい町内が使えるように等対応することはできないのか。また、放送のマイク等を屋上から下に移設できないか。</p>	<p>(池田班長) 事前に連絡をいただければ、職員が登庁し、対応することは可能である。</p> <p>(池田班長) 要望としてお聞きする。機械自体を動かすことは技術的に可能かどうかわからないので、即答はできない。訓練以外の放送については、安塚区では各町内会の訓練の際に防災無線を使用しているのみと把握している。</p>



質問・要望等の内容	回答
<p>要望だが、休日、祝祭日の無線がなくなるのであれば各町内会で無線の設備、外部スピーカーを訓練の際など使えるようにしてほしい。</p>	<p>(池田班長) 要望としてお聞きする。</p>
<p>お年寄りが多くなる中、メールなどにより自分で確認しろというのは不親切に感じる。防災無線については機能してもらった方がいいと感じる。</p> <p>各町内会の反応は。</p> <p>無線の放送がなくなると不便になる。</p> <p>昼間もしないのか。</p>	<p>(市川所長) 防災無線については、木田から一括で放送が可能である。安塚区のみで放送するなど、個別の放送については設備的に大きく変える必要があり現実的に難しい状況である。安塚区では多くの方がケーブルビジョンに入られているほか、災害の情報は消防署の自動音声アナウンスでも取得することが可能である。区外に勤務している消防団員も多い中、完璧な情報伝達手段は無いが、無線よりも、確実にメールのほうが迅速に消防団員への連絡ができることも御理解いただければと思う。</p> <p>(市川所長) 無線の関係については他町内会でも一番質問が多かったと思う。</p> <p>(市川所長) 無線の火災発生の放送は、広く周知するというよりも、消防団員の参集を呼びかけるものと考えている。無線に変わりメールで招集ができるようになった現在、廃止という方向で検討しているものである。</p> <p>(市川所長) 平日の昼間も原則しないということで検討している。皆さんの意見をいただきながら検討の課題としている。</p>

質問・要望等の内容	回答
<p>要望として、火災の無線は流してほしい。メールを見ることができない人ばかりではなく、親戚がいる人は心配になる。どこで火事がおきたのかだけでも流してほしい。各自で知りなさいというやり方は不親切ではないか。</p>	<p>(市川所長) 要望としてお聞きする。</p>
<p>&lt;その他&gt; 私の町内では町内会長が検便を集めている。検診について、なぜ町内会長が検便を集める必要があるのか。</p> <p>健診日当日に受診者が検便を持っていき、結果を後日知らせればよいのではないのか。町内会長が集める理由がわからない。</p>	<p>(石川グループ長) 人間ドックと違い、大腸がん検診は別の日となっているのが理由の一つである。他の区だと総合事務所に直接持参となっている。安塚区では、受診者への手間がかからないように、町内会長に依頼している。</p> <p>(石川グループ長) 健診の際に人間ドックのように、大腸がん検診を受けることが可能かどうか確認する。また、町内会長が検便を集める件に関しても理由を確認し回答する。</p>
<p>樽田の雪室について、事業主体はどこか。</p>	<p>(市川所長) 市が事業主体となる。担当課は農村振興課である。運営などの仕組みはこれから考えていくところであるが、委託や指定管理等の方法になるのではと思っている。</p>
<p>高田で春クマが出た際の対応について、なぜ射殺しなかったのか。基準があるのか。</p>	<p>(市川所長) 高田のケースについては、担当に確認していないが、子熊であったことと、全国ニュースで報道されたこと等を考慮し、射殺しないという判断に至ったのだと思う。</p>
<p>電気柵については、イノシシの絶対数量を減らさないと問題解決にはならないと感じる。対応してほしい。</p>	<p>(浦川原産業G) 従来、豪雪地帯では、豪雪地帯であるがゆえに、自然に頭数制限の管理がされていたが、近年の温暖化により個体数がふえている。</p>

質問・要望等の内容	回答
	市では、銃やくくり罠の免許取得の補助を行っている。くくり罠については猟友会への貸出も行っている。ただ、猟友会自体の構成人数が減っているのが実態となっている。
行政無線で熊の放送を行う場合について、安塚だけでなく、隣接する区で近い場所にクマが出たら放送してほしい。安塚で起きたことしか話してもらえないものなのか。	(市川所長) クマが出た場合、全部を放送するわけではない。人家に近い場所に出たという情報があれば、防災情報無線で放送し、職員が巡回するといった対応を行うが、これは総合事務所の判断としている。区の堺であっても頻繁に目撃情報等があれば放送することもあると思う。目撃から何時間もたってから通報を受けた場合などは放送しない対応とすることもある。
市道の管理について、除草は除草剤をまくなどし、早めの対応をお願いしたい。市の基本的な方針が使わないということなら、どう対応していくのか。	(浦川原建設G) 除草剤での対応は難しい。市では原則、使わないということになっている。除草剤については、さまざまな意見があるなか、安塚や大島では、草刈の対応が厳しい現実がある。管理を続けていくにあたって、地域の実態を伝えていかなければならないと思っている。除草剤使用の禁止については、市全体で原則としていることなので、今後特定の地域で使えるようにするなど意見していかなければならないと考えている。
防災情報無線について、話す人の話し方について、イントネーション等、もっとわかりやすい放送をお願いしたい。	(池田班長) イントネーションがということだが、職員の異動がある中で、今までアナウンスの研修はなく、発音などは個人の努力となっていた。最近は放送の研修が開催されるようになってきた。御意見をいただいたので、発音等に気を付けながら対応していきたいと思う。皆さんからの御意見等を基に、お聞きしやすい放送にしていきたいと考えている。

質問・要望等の内容	回答
<p>大規模災害について、例えば集中豪雨の時、避難レベル4とか3の出し方はどこから持ってくるものなのか。豪雨に伴う土砂災害の危険が想定されるとき避難の判断基準は何か。</p>	<p>(池田班長)</p> <p>避難の指示については県から土砂災害の危険がある旨の通知が来て、それに基づき市から住民に避難の指示を出している。</p> <p>新潟県で、土質と雨の降った量がグラフ化されており、ある一定の基準を超えると土砂崩れの危険があるとして避難情報の通知がでる。安塚の雨量の関係については和田にある雨量計と、安塚振興局にある雨量計で判断しているものと思われる。土質の関係と降った雨の量、土の中の水分量から判断し、新潟県で判断し避難の通知が来る。その後、危機管理課から皆さんに放送で避難を呼びかける。</p>
<p>小規模災害時の農地に関しては。</p> <p>町内会長が窓口になってしなくてはいけない。地権者がやるものではないか。</p>	<p>(浦川原産業G)</p> <p>基本的に個人の農地については、崩れても自分が管理するものとなっている。施策として、個人の財産であっても9割市が補助して復旧する制度を行っており、基準がないと対応しきれなくなる。基準以下の雨量で崩れる場合もあるが、それを入れると市の施策自体が成り立たないということで、明確に区分している。</p> <p>(浦川原産業G)</p> <p>小規模災害については、水田の畦畔、農道等、各農家が管理すべきところの小規模災害については、今後すべて個人名での申請に改めます。ただ、町内会からの要望もなくてはならないほかに、個人が特定できない場合は町内会から申請していただく方法となる。</p>

中川地域生涯学習センター（坊金町内会他）

質問・要望等の内容	回答
<p>&lt;バス路線の再編や見直しについて&gt;                      計画期間が令和2年から8年間となっているが、令和9年までは現状維持ということか。</p>	<p>（大橋次長）                      全部の区が一斉にこの体制をとるわけではなく、住民の皆さんとの協議後、できるところから実施していきたい。検討が整えば令和3年から実施していきたいと考える。そして見直しをしながら進めていく。</p>
<p>乗合タクシーの具体的な利用はどのようなものか。時間が決まっていて、予約が必要なものなのか。</p> <p>それは中郷区も同じか。</p> <p>スクール混乗の方が便利なのではと思う。スクールバスと民間を分けることで乗車率は減ってしまうのではないか。</p> <p>意見、この分析の仕方は細かくて正確だと思う。それに対して市の方から適用について考えていただければと思う。</p>	<p>（大橋次長）                      大型バスのような車両ではなく、10人乗りとかの車両を使い運行する。呼び方が乗合タクシーとなっている。一日何便といったことになる。デマンドになるかどうかは、これからの検討になる。</p> <p>（交通政策課）                      中郷区もある程度時間が決まっている。日中については予約して利用するような形になるかと思う。また、路線についてはある程度、自宅に近いところへの、バス停の設置を検討している。</p> <p>（大橋次長）                      委託の関係や乗合タクシーに乗れるのかどうかも検討が必要になるかもしれない。この意見も踏まえ検討していく。</p>

質問・要望等の内容	回答
<p>&lt;時間外受付の見直しについて&gt; 安全メールに登録しなくても、市のホームページで火災の情報を確認することは可能か。</p>	<p>(池田班長) 市のホームページには掲載されるものもあるが、スピードは安全メールに登録した方が情報は早く届く。また火事のみなら、消防署の音声案内でも確認は可能。</p>
<p>これからの検討だと思うが、火災のメールが誤報である場合も考えられる。誤報の場合の対応は自分で判断するのか。</p>	<p>(池田班長) 消防団員メールで通知がある。消防団員として安塚区内で火災発生のお知らせが来たら出動するものだと思っていただきたい。</p>
<p>消防団の場合、出動できる人数が集まらない時がある。団員が遠くに仕事に出ているなどすぐ参集できない。</p> <p>消防団の編成の話、芝火災があった時、出動態勢も今後変わるのか。</p>	<p>(池田班長) 今回の無線とは別の話になる。消防団員の再編が関わってくる話となる。市でも考えているが、今回の防災無線の件とは別ということで、お答えは控えさせていただきます。</p> <p>(池田班長) 今後、それぞれの分団の中で話し合ってください必要があるものと思います。</p>
<p>関連経費について、見直しによっていくらか経費の削減につながるのか。</p>	<p>(池田班長) 廃止となった場合は、約1,000万の経費は0となる。ただし、機械警備への移行のため機械の設置費用など、初年度は経費がかかるが、年間の委託料としては年間数十万の委託料金の見込である。</p>
<p>&lt;その他&gt; 社会保険に入ったが、市からの健康診断の通知は返した方がいいのか。</p>	<p>(石川グループ長) 市からの通知は破棄していただいて構わない。会社の健康診断を受けてほしい。</p>

質問・要望等の内容	回答
健康づくりポイントの実績はよかったのか。	(石川グループ長) 安塚の実績は良かったと聞いている。
大島、安塚、浦川原区の固定資産の納税は100%みんな納めているものなのか。	(市川所長) 即答はできないが、100%ではないと思う。資料もなく、また全体的な話となるので承知していない。
道路パトロール車について、雨天時に道路の側溝から水があふれていたが対応することなく通り過ぎていた。道路パトロール車とは、区内をただ巡回するもので、道路の軽微な不良等を直す事はしないのか。	(浦川原区建設G) それはおそらく県のパトロール車だと思う。県も市も同様だと思うが、路面の荒れている部分についての整備等を行っている。今回の件は、県にもう少し丁寧に見てもらおうようお伝えする。また市も、パトロール中そのような状況を発見したら対応していきたいと思う。
高齢化や人口減少による中山間地域への弊害が心配。医療福祉、集落維持などさまざまな問題がある。明日からでもアクションプランを作って対策をしてほしい。また、安塚について今後の考え方をお聞きしたい。	(市川所長) 人を呼び込むには、地域にある魅力を、楽しむことのできるパッケージを作ることだと思っている。さまざまな情報がある中で、皆聞いたことはあるけど訪れたことはない場所というのが多いと思う。情報だけでは現地に来るきっかけになっていないと考えている。人を呼び込むアクションプランまでいくかはわからないが、地域の魅力を楽しめる、楽しくやれる方法を作っていければ、皆さんも楽しい地域づくりができるのではと思っている。

質問・要望等の内容	回答
<p>移住コンシェルジュがいると思うが、そういった方々も含めて地域の定住人口の増加につなげてく話が必要なのでは。</p> <p>近所付き合いや、地域の人間の危機感と意識の問題もあると思う。</p> <p>具体的な計画を立ててもらい、事務所と地域が一体になって進めていけたらと思う。</p>	<p>(市川所長)</p> <p>地域の素晴らしいものに関心を持ってもらい、皆さんが楽しみながら活動することによって、他からも人がやってくると思う。公民館事業で遺跡を歩く講座を開催しているが、毎回定員オーバーとなっている。このような事業も今後の活動に結び付いていけると思う。また、皆さんからも具体的な施策があれば教えていただきたいと思う。</p>



## 雪だるま高原施設の効率化に向けた対応（機能再編）について

### 1. 施設運営上の諸課題について

#### (1) 施設の老朽化

- 平成 2 年のスキー場オープンから 29 年が経過しており、エリア内に所在する各施設とも老朽化が進行し、年々と修繕料等の維持管理費用が増加傾向にある。

(参考)【主な施設の経過年数】

施設の名称	構造	整備年月	経過年数	耐用年数
センターハウス	鉄骨造 3 階建	H2 年 12 月	29 年 8 か月	40 年
雪の湯	鉄筋コンクリート造 3 階建	H3 年 2 月	28 年 6 か月	50 年
久比岐野	木造 2 階建	H2 年 12 月	29 年 8 か月	25 年

- 特に温浴施設に係る不具合が多く、現在の利用状況や将来的な雪だるま高原施設の在り方・方向性を見据えながら、抜本的な対応を検討しなければならない。

【温浴施設に係る不具合の概要】

(ア)「雪の湯」の空調及び給湯設備等の機能低下・・・【更新整備費の見込：約 2,400 万円】

- ・ 空調設備に不具合が生じており 3 階宴会場と 2 階の一部の冷房が不能。当面の対応として夏場の宴会利用については「センターハウス」及び「久比岐野」にて受入
- ・ 温泉を加熱するための熱交換器や、浴室及び厨房へ給湯する専用ボイラーのほか、循環ろ過装置の機能低下が著しく、更新整備の必要性が高い。

(イ)「源泉井戸」の湯量減少・・・【更新整備費の見込：約 1,900 万円】

- 源泉井戸の湯量が減少しており、雪の湯の営業に支障のない湯量を確保するには、揚湯ポンプの位置を下げ、能力アップ（汲上能力の向上→揚湯ポンプの更新）を図ることが必要

#### (2) 人手（労働力）不足

- 平成 30 年 12 月のハローワーク上越管内の有効求人倍率（パートを含む全数）は 1.56 倍と、平成 30 年 7 月以降 1.5 倍を超える高い水準で推移しており、企業における人手不足感はさらに高まっている。
- 指定管理者（㈱キューピットバレイ）においても人手確保に苦慮しており、特に冬期における季節社員の不足分を単価の高い派遣社員に頼らざるを得なく、経営圧迫の一因にもなっている。

### 2. 施設を取り巻く環境の変化について

- 当市における人口減少や少子高齢化の進行に加え、レジャーの多様化やニーズの変化等により温浴やスキー離れが顕著に現れるなど、施設を取り巻く環境は一層厳しさを増している。

(参考)

上越市の人口

- H21 年 [207,323 人] → H30 年 [194,132 人(6.4%減)] → R12 年 [173,557 人(16.3%減)見込]

日本のスキー・スノーボード人口（引用元：レジャー白書）

- H10 年 [1,800 万人(ピーク)] → H27 年 [740 万人(58.8%減)]

### 3. 施設の利用状況について（単位：人）

- センターハウス（スキー場）、雪の湯、久比岐野ともに利用者数は減少しており、特に「雪の湯」の利用者が大きく減少している。

項 目	市町村合併当時の状況		直近 3 ヶ年の状況			増減率 ②/①
	H17 年度	H18 年度①	H28 年度	H29 年度	H30 年度②	
センターハウス (スキー場)	157,030	154,600	118,300	117,000	118,900	▲23.1%
雪の湯	121,028	116,638	60,027	59,027	57,206	▲51.0%
久比岐野	7,296	7,151	5,887	5,059	5,006	▲30.0%
その他	2,159	1,859	2,527	2,305	3,425	84.2%
計	287,513	280,248	186,741	183,391	184,537	▲34.2%

### 4. 施設の運営状況について（単位：千円）

#### (1) 指定管理者の収支状況

- 利用者数の減少に伴い売上が減少しており、経費を節減するなど取組を進めているものの、黒字は困難な状況にある。部門別では「雪の湯」が不採算となっている。

項 目	H17 年度	H18 年度①	H28 年度	H29 年度	H30 年度②	②/①
収入	698,430	655,095	447,301	501,393	505,387	▲22.9%
(うち指定管理委託料)	(12,870)	(15,308)	(15,752)	(15,752)	(15,752)	2.9%
支出	697,601	686,477	456,651	518,611	504,548	▲26.5%
差 引	829	▲31,382	▲9,350	▲17,218	839	102.6%

※ ( ) 以外は税抜

	センターハウス	雪の湯	久比岐野	その他
【参考：部門別の差引】	10,053	▲9,517	248	55

#### (2) 市の収支状況

- 指定管理者に支払う指定管理委託料のほか、施設や設備の修繕料・工事費等の支出があるが、この経費が年々と増加しており、平成 30 年度には約 1 億 4,800 万円の支出を要している。

	H17 年度	H18 年度①	H28 年度	H29 年度	H30 年度②	②/①
収入	0	0	5,803	0	261	-
支出	指定管理委託料	12,870	15,752	15,752	15,752	2.9%
	修繕料・工事費等	13,189	37,866	88,139	61,171	148,339
差引	▲26,059	▲53,174	▲98,088	▲76,923	▲163,830	▲208.1%

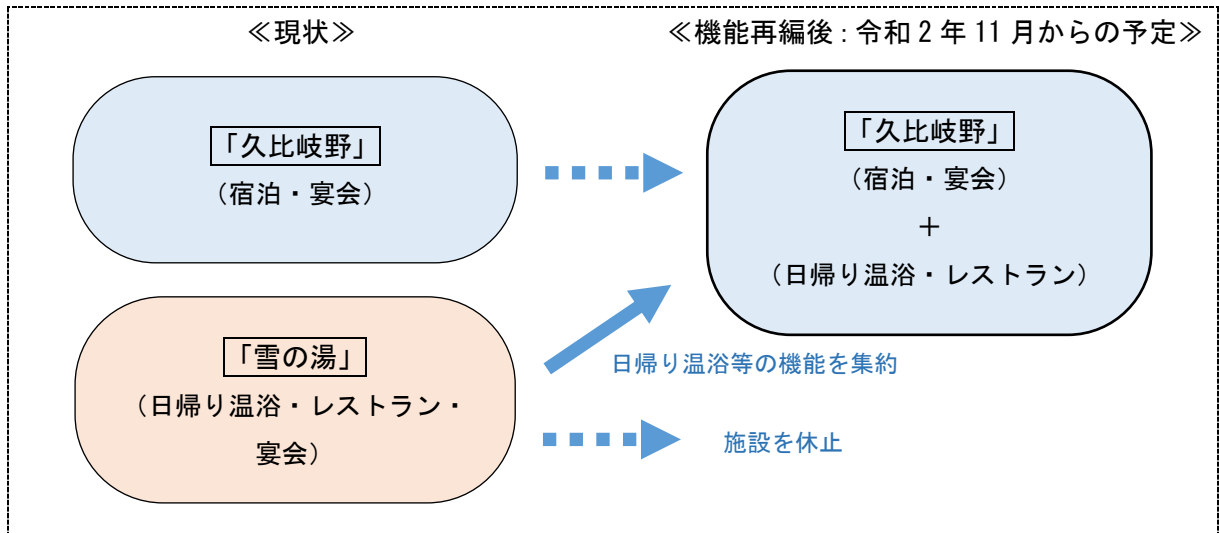
【参考：主な内容】

- ・ 第 1 クワッドリフト減速機更新 52,812
- ・ ゲレンデ整備車更新 37,800
- ・ ゴンドラ、リフト整備 21,685
- ・ ゲレンデ整備車点検修繕 10,795

## 5. 今後の対応（施設の機能再編）について

- 施設運営上の諸課題や施設を取り巻く環境の変化に対応した、効率的な施設配置及び組織体制を確立するため、「雪の湯」における日帰り温浴等の機能を、隣接する「久比岐野」に集約する。

（イメージ）



### 【機能再編に必要な施設改修について】

- 久比岐野の浴室を拡張整備する。
  - ・・・男女浴室とも浴槽及び洗い場を増床（浴槽は3～3.5倍程度の増床を予定）

（改修計画）

- 実施設計委託料（396万円）を予算計上 令和元年9月議会
- 実施設計 令和元年10月中旬～令和2年3月中旬
- 改修工事 令和2年10月竣工を予定
- 「久比岐野」浴室リニューアルオープン、「雪の湯」休止 令和2年11月を予定

### 【見込まれる効果】

- 維持管理経費の削減（特に修繕料、光熱水費等で大きな削減効果が見込まれる）
- 限られた資源（源泉井戸）の有効活用
- 適切な人員配置及び組織体制の強化
- 新たな魅力、特長（源泉かけ流しの日帰り温浴施設：市内では唯一）を生かした施設のPR及び利用促進